



2021年4月21日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディ コミュニケーションセンター

新型 Audi A3 シリーズを発売

- 最新のデザイン言語に則り、エクステリアはよりスポーティかつダイナミックに
- 30 TFSI に 48V のマイルドハイブリッドシステム (MHEV) を搭載
- 最新のインフォテインメントシステム MIB3 で、快適なドライブをサポート
- 導入を記念し、装備を充実させた限定モデル「1st edition」を設定

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：フィリップ ノアック）は、プレミアムコンパクトハッチバックおよびセダン、Audi A3 シリーズをフルモデルチェンジし、本日より受注を開始し、5月18日より* 全国のアウディ正規ディーラー（124 店舗、現時点）を通じて発売いたします。

*40 TFSI モデルは、2021 年秋発売予定

Audi A3 シリーズは、プレミアムコンパクトのパイオニアとして、世界最大のマーケットであるコンパクトセグメントにおいて高い人気を誇るハッチバック/セダンモデルです。先代の第3世代モデルは、2013年より Audi A3 Sportback を、2014年には Audi A3 Sedan を国内導入し、手頃なボディサイズをはじめ、アウディらしいスポーティかつエレガントなスタイル、高品質なインテリア、卓越した走行性能で高い評価を得てきました。

第4世代となる新型は、スポーティなデザイン、高効率化されたエンジンと洗練されたサスペンション、よりデジタル化した操作系やディスプレイ、さらに高機能になったインフォテインメントシステムやドライバーアシスタンスシステムと、全方位での進化を果たしています。また新たなグレード構成を、ベース / advanced / S line としました。

エクステリアデザインは、最新のデザイン言語に則り、低くワイドなシングルフレームとフロントエンドの大型エアインテークやエッジの効いた LED ヘッドライトが、プレミアムコンパクトカーのダイナミックなキャラクターを際立たせています。ヘッドライトからリヤライトへとつながるショルダークラインに加えて、「Audi quattro」をイメージしたプリスターフェンダー、彫刻的な凹面形状のドアパネルが、力強いサイドビューを形成しています。立体的なデザインのリヤコンビネーションライトやフロントバンパーのエアインテークをモチーフに採り入れたリヤバンパーが、ワイド&ローのプロポーションを強調。またセダンでは、スポイラー形状のトランクリッドエンドを採用しています。さらに、パネルによって覆われたアンダーボディ、エアロダイナミクスが改善されたエクステリアミラー、ブレーキの冷却機能により空気抵抗が減少しています。Sportback の Cd 値は 0.28、Sedan は 0.25 です。

新型 Audi A3 Sportback のボディサイズは、従来モデル比で全長は+20mm の 4,345mm (advanced の値)、全幅は+30mm の 1,815mm となっています。フロントのヘッドルームは+7mm、エルボールームは+6mm、後席では、ショルダールームが+2mm、エルボールームが+3mm と室内空間を拡大しています。積載容量は 380ℓ (最大 1200ℓ) です。新型 Audi A3 Sedan は、先代モデルと比較して、全長は+30mm で 4,495mm (advanced の値) となりました。ホイールベースは変更されていません。全幅は+20mm の 1,815mm で、全高は+20mm で 1,425mm (advanced の値) になりました。また運転席のポジションを下げたことでフロントヘッドルームは+20mm となり、エルボールームも広がっています。積載容量は 425ℓ です。新型 A3 では、横置きエンジン用プラットフォーム「MQB」を採用。キャビン骨格など、ボディの 30% (重量比率) に熱間成型スチールを採用することで、高いボディ剛性

と軽量化、優れた安全性を実現しています。

インテリアには、センターコンソールを運転席側に向けたドライバーオリエンテッドなコックピットデザインを採用しました。コンパクトな新形状のシフトスイッチも採用。空間に広がりを与えると同時にリリースボタンを廃したことで、前後への単純な動作でシフト操作を可能にしました。またサステイナブルな取り組みの一環として、Sline の標準シートのクロス部分に、リサイクルペットボトルを原料とした素材を採用。見た目と座り心地の両面で従来のテキスタイル地と同等の品質を確保しています。1台分のA3のシートで、1.5ℓ容量のペットボトル換算で最大45本分をリサイクルして使用しています。さらにフロアカーペットなどにもペットボトル62本分がリサイクル利用されています。インテリア以外のコンポーネントも、断熱材や吸収材、ラゲージコンパートメントのサイドパネル、積載フロア、マットなどにもリサイクル原料が使用されています。アウディは、生産する車両のリサイクル素材の割合を、今後数年間で大幅に増加させるという明確な目標を掲げています。

メーターパネルには10.25インチの高解像度液晶ディスプレイに、メーター類をはじめ、DIS（ドライバーインフォメーションシステム）や、地図表示などの機能を統合したアウディバーチャルコックピットをオプションで設定。インフォテイメントとしては、最新の10.1インチのタッチスクリーン式「MIB3」MMIナビゲーションシステムを搭載しています。

パワートレインは、30 TFSI は最高出力110ps、最大トルク200Nmを発揮する1.0 TFSI エンジンを搭載。日本へ市場導入されるプレミアムコンパクトセグメントでは初めて、ベルト駆動式オルタネータースターター（BAS）と48Vリチウムイオンバッテリーを用いたマイルドハイブリッドドライブシステムを組み合わせることで、低燃費化を図るとともに、加速時にはモーターによるアシストによって走行性能を高めています。一方、40 TFSI モデルは、140kW（190ps）/320Nmを発生する2.0TFSI エンジンを搭載し、quattro 四輪駆動システムと組み合わせられます。トランスミッションは両エンジンともに高効率かつ素早い変速を可能にする7速Sトロニックを搭載します。サスペンションは30 TFSI は前：後がマクファーソンストラット式：トーションビーム式、40 TFSI はマクファーソンストラット式：ウィッシュボーン式の組み合わせとなります。

また最新の安全技術とアシスタンスシステムを採用しました。従来のアダプティブクルーズコントロールやアクティブブレーンアシスト、トラフィックジャムアシストを統合した、アダプティブクルーズアシストをオプションとして用意。前走車の追従機能に加えて、車線からはみ出しを自動で修正する車線維持機能により、ドライバーの疲労を軽減します。

Sモデルである、Audi S3 Sportback / Sedan は、ボンネットの先端に往年のAudi quattroを彷彿とさせるデザインのスリットを備え、さらにハニカムパターンのシングルフレームグリルや大型のエアインテークを備えたフロントバンパー、専用デザインのリヤディフューザー、左右4本出しのテールパイプなどにより、スポーティさに磨きをかけています。インテリアは黒を基調にスポーツシートを採用するなど、プレミアムスポーツの雰囲気を強調。新型S3には12.3インチのバーチャルコックピットプラスが標準装備となります。

2.0 TFSI エンジンは最大1.8barの過給圧（相対圧）のターボチャージャーと350barの燃料噴射を備え、最高出力310ps、最大トルク400Nmを発揮、トランスミッションは7速Sトロニックで、電子制御式油圧多板クラッチを用いたquattroを組み合わせています。

サスペンションは、フロント：マクファーソンストラット式、リア：ウィッシュボーン式で、ベースモデルに比べて車高を15mm低く設定しています。またオプションで電子制御式のダンピングコントロールサスペンションを選択することも可能です。

ラゲッジルームの容量はスポーツバックが380ℓ、セダンが425ℓですが、スポーツバックではリアシートを倒すと1,145ℓまで拡大します。

新型 Audi A3 Sportback/Sedan のエクステリアカラーには、アトールブルーメタリック、マンハッタングレーメタリック、パイソンイエローメタリック、ターボブルーの 4 色を新規設定しています（アトールブルーとマンハッタングレーはベースと advanced 専用、ターボブルーは S line と S3 専用色）。

また、新型モデルの導入を記念して 1st edition を用意しました。A3 30 TFSI advanced をベースに装備を充実したモデルを Sportback と Sedan それぞれ 375 台と 125 台、S3 Sportback を 125 台発売します。税込価格は、A3 Sportback が 4,530,000 円、A3 Sedan が 4,720,000 円、S3 Sportback が 7,110,000 円となります。

車両本体価格

Audi A3 Sportback / Sedan

モデル	エンジン	トランスミッション	駆動方式	ステアリング	車両本体価格 (税込)
30 TFSI	1.0ℓ 直列 3 気筒 DOHC ターボチャージャー 110PS/200Nm	7 速 S トロニック	FWD	右	3,100,000 円 / 3,290,000 円
30 TFSI advanced	1.0ℓ 直列 3 気筒 DOHC ターボチャージャー 110PS/200Nm	7 速 S トロニック	FWD	右	3,460,000 円 / 3,650,000 円
30 TFSI S line	1.0ℓ 直列 3 気筒 DOHC ターボチャージャー 110PS/200Nm	7 速 S トロニック	FWD	右	3,890,000 円 / 4,080,000 円
40 TFSI quattro advanced	2.0ℓ 直列 4 気筒 DOHC ターボチャージャー 190PS/320Nm	7 速 S トロニック	quattro	右	4,400,000 円 / 4,590,000 円
40 TFSI quattro S line	2.0ℓ 直列 4 気筒 DOHC ターボチャージャー 190PS/320Nm	7 速 S トロニック	quattro	右	4,830,000 円 / 5,020,000 円
S3	2.0ℓ 直列 4 気筒 DOHC ターボチャージャー 310PS/400Nm	7 速 S トロニック	quattro	右	6,420,000 円 / 6,610,000 円